



# あのときの常呂・写真館

VOL 151

(1982年)

## 昭和57年9月1日 福山神社落成・祝賀会

▶昭和57年10月号の「広報ところ」掲載の記事から抜粋して概略を紹介します。

「9月1日、福山神社の落成を記念して福山小学校で祝賀会を開催、50人が出席。福山神社の旧拝殿は昭和15年に建設。幾度かの補修を加え、持ちこたえてきたものの傷みが激しくこのたび新築。新しい拝殿は旧拝殿のやや後方に位置し、階段も同時に整備。前日の8月31日には餅まきやカラオケ大会などで地域を挙げて完成をお祝い」

●福山地区には、かつて、太茶内神社、熱田神社、幌内神社がありました。この3つの神社の変遷を下記にまとめました（参考：常呂町史・イワケシュ郷土史）

|             |                                                                                       |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 明治42年（1909） | 四国から移住してきた小崎拾吉が金比羅神のご神体を受け29号に祀り、太茶内神社と称号                                             |
| 大正元年頃（1912） | 21号にあった熱田農場主：熱田常次郎が個人で神社を造営し、熱田神社と称号                                                  |
| 大正3年（1914）  | 当時の住民らが発起人となり、21号高台に神殿を造営し幌内神社と称号                                                     |
| 大正6年（1917）  | 地域住民の総意により、熱田神社と幌内神社を合祀し、幌内神社として21号高台に祀る                                              |
| 昭和15年（1940） | 太茶内部落と幌内部落の合併により、神社の合祀を青年団と古老を中心に議論。統合神社を現在地に選定、青年団の奉仕作業で神社敷地が完成、太茶内・幌内神社を合祀して福山神社を建設 |



＊左：昭和15年建設の  
福山神社





昭和57年当時の福山神社



＊上：福山神社落成祝賀会



＊左2枚  
現在の福山神社  
(下から神社、  
神社から下を  
見て)